

学報

SEIREI CHRISTOPHER
COLLEGE REPORT

2005.10.1
Vol.26

3453 Mikatahara-cho Hamamatsu-shi Shizuoka 433-8558 <http://www.seirei.ac.jp>



2005年4月4日(月)、アクティ浜松中ホールにおいて2005年度入学式が行なわれました。本年度は各学部、各大学院あわせて392名が入学しました。パイプオルガンによる厳かな演奏の中、緊張した面持ちの新生は深瀬須加子学長や長谷川了理事長の話に熱心に耳を傾けていました。また、新生を代表して、看護学部の原明子さんが「自らを大きく成長させる4年間にしたい」と新しく始まる学生生活に向けての決意を力強く述べました。

INDEX	PAGE		
ようこそクリストファーへ	1	クリストファーニュース	7
聖書のことば	2	聖灯祭	9
クリストファーQ&A	3	学友会から	10
私の教育研究	5	後援会から	10
クラブ・同好会紹介	6		



保健・医療・福祉の探究

聖隷クリストファー大学

聖隷

2005.10.1
Vol.26

聖隷クリストファー大学
学報

発行所 聖隷クリストファー大学 看護学部/看護短期大学部/リハビリテーション学部/社会福祉学部 大学院 看護学研究科/社会福祉学研究科
〒433-8558 静岡県浜松市三方原町3453 TEL.053-439-1400 FAX.053-439-1406 <http://www.seirei.ac.jp>

地域に開かれた大学として
専門職の方々や一般の方々を対象に
さまざまな講演会を開催しています。

OPEN LECTURE

◎大学院担当教員による講演会を開催しました。

7月23日(土)に、第1回目の「大学院担当教員による講演会」を開催しました。今年は全3回の開催を予定しており、第1回目の講演会では、本学大学院社会福祉学研究所の小松啓教授が、「大学で学ぶこと・実践で学ぶこと」と題し、講演を行いました。



◎公開講座を開催しました。

9月3日(土)に、第1回目の「公開講座」を開催しました。死傷者43,000名余りをもたらしたあの阪神・淡路大震災から10年が経過しました。私たちは、震災から何を学び、将来に何を発信していくことができるでしょうか。今回の公開講座では「震災後の復興」をテーマに3回にわたり講演会とシンポジウムを企画しました。第1回目の講演会では、長崎純心大学教授・日本女子大学名誉教授の一番ヶ瀬康子氏が、「震災と福祉文化～阪神・淡路大震災から10年間で学んだこと～」と題し、講演を行いました。



INFORMATION

下記講演会はどなたでも無料で参加できます。なお会場は本学です。

大学院担当教員による講演会

看護学研究科 「看護実践における倫理」

◆日時 2005年10月22日(土) 14:00～16:00
◆講師 小島操子 教授

倫理上の基本原則や看護者の倫理綱領を見直し、看護倫理の教育不足による影響への対応策や患者の権利の擁護者(アドボケート)としての役割などについて。

社会福祉学研究科 「はつらつ・生きがい術」～人生百年時代の生活設計を～

◆日時 2005年10月22日(土) 14:00～16:00
◆講師 吉沢 勲 教授

精神保健の立場から、生きがいをもって生きるための具体的なコツについて。笑いながらお聞きください。

公開講座 [共通テーマ]震災後の復興に、今、私たちができること。

「いかに生活するか、いかに空間を整えるか」～生活環境の視点から～

◆日時 2005年10月14日(金) 18:30～20:00
◆講師 林 玉子 教授

高齢者や障害者の生活環境について長年、調査・研究に携わってきた林教授。今回は特に震災後の生活環境について。

「こころのケア」

◆日時 2005年10月25日(火) 18:30～20:00
◆講師 店村 真知子 教授 中道 芳美氏(非常勤講師)

日常生活の中で、触れることで感情を表出し、癒やされる絵画や音楽を通じたこころのケアについて。実践例やその指導方法などをお話します。

[問い合わせ先]教務事務センター TEL.053-439-1433 FAX.053-439-1430 E-mail: cl-office@admin.seirei.ac.jp

読者アンケートのお願い

裏面の質問にご記入いただき、
ポストに投函してください。

POST CARD

433-8790

静岡県浜松市三方原町3453

聖隷クリストファー大学
総務部 総務課 行



差出有効期限
平成18年9月30日まで
切手不要

名前	住所	電話	E-mail	区分
				<input type="checkbox"/> 保護者 <input type="checkbox"/> その他

本年度、本学は総計392名の入学生を迎えました。内訳は看護学部157名、リハビリテーション学部94名、社会福祉学部115名、看護短期大学部専攻科助産学特別専攻17名、大学院9名です。そのうち2年次・3年次編入生は看護学部・社会福祉学部を合わせて17名。年齢も18歳から54歳までと多岐にわたっています。それぞれの目標に向かって本年度の学生生活がスタートしました。

看護学部 看護学科	1年次生	147名	
	2年次編入学生	3名	
	3年次編入学生	7名	
リハビリテーション学部 リハビリテーション学科	1年次生	理学療法学専攻	33名
		作業療法学専攻	34名
		言語聴覚学専攻	27名
社会福祉学部 社会福祉学科	1年次生	108名	
	3年次編入学生	7名	
看護短期大学部専攻科助産学特別専攻		17名	
平成17年度大学院入学生 総計9名	看護学研究科看護学専攻修士課程	7名	
	社会福祉学研究科社会福祉学専攻修士課程	2名	

ようこそ！ クリストファーへ

最年少18歳、最年長54歳“目標に向かって共に学ぶ”



最年長54歳の小粥さんにお話を伺いました。 生涯現役でいられる 仕事をしたい。

平成17年度入学 社会福祉学部
小粥 一広さん

小粥さんは今年度最年長の新生入生ということですが、福祉に進もうと思ったきっかけと本学を選んだ理由をお聞かせください。

親が施設に入所するような状況になり、会社の夏期休暇を利用して施設がどういうものか知るためにデイサービス7日間のボランティアを体験しました。物を作る仕事をしてきた自分にとって人に接する仕事にそのとき感動を覚えました。また、妻が介護の仕事をしており、妻と同じ福祉の仕事に携わって共に福祉について話せた



小粥 一広さん

らしいなという思いも自分の中にあったと思います。

人生80年と考えたとき自分が最後まで現役でいられる仕事をしたいと思いました。そう考えた時、福祉の道に進もうと決意したんです。この大学を選んだのは入試相談会に出席し、聖隷歴史資料館を見学させてもらったことがきっかけです。聖隷の歴史に出会い、「ぜひ、この学校で学びたい。このなら年とった自分を受け入れてくれるにちがいない。」と思い、受験を決めました。

仕事を辞めて福祉の道に進むことについてご家族は何とおっしゃいましたか。

この大学の情報を得たのは妻からでした。試験前夜、静岡で下宿している一人娘から「がんばってね」の電話をもらい、娘からも人生を再スタートする後押しを得た、という実感がしてうれしかったのを思い出します。娘は今、語学を勉強する大学2年生です。

入学されて約半年経ちますが学生生活はいかがですか。

授業もたくさんあるし、レポートもたっぷりあるので、勉強に忙しいですが、レポートを書くことはすごく自分にとっては力がつく学習だと感じています。勉強だけでは

なくて同級生の若い学生とカラオケにも数回行きましました。アルコール抜きでハイテンションになり、何時間でも歌い続けるエネルギーには毎回、圧倒されています。

勉強以外に何か大学でやってみたいことはありますか？

ジョギングが趣味で入学する前からブラインドンランナーの伴走(<http://www.nsva.or.jp/index.html>)を少し経験しました。また初心者向けのガイドヘルパーにも足を踏み入れてみたいと考えています。

最後に一緒に学ぶ同級生に何かメッセージはありますか。

むしろ自分自身へのメッセージになりますが、学生生活、実習やボランティアの体験を重ね、それを机上の建前に終らせず、自分のものにして現場に出たいと思っています。卒業までの4年間だけでなく、あと30年くらいは、皆さんお付き合いをお願いします！

入学式の日、娘さんと一緒に来られた小粥さん。職員が娘さんを入学生と間違えたとき、恥ずかしそうに「私が入学しました」とおっしゃった笑顔が印象的で、お話しを伺いたいと思っていました。取材を快く受けてくださいましたことに感謝いたします。

新入生セミナー

入学したばかりの新入生はこれから始まる大学生活に多少なりとも不安を抱えているものです。今までと違った新しい人間関係や友人関係、授業や実習、試験、アルバイトなど。大学生活への不安を少しでも取り除き、大学生活に馴染めるよう各学部ごとに新入生セミナーを企画し、実施しています。また、このセミナーでは上級生が企画・運営に加わり、皆で協力してひとつの企画を成功させることの難しさを学ぶと同時に充実感を味わうことができる貴重な体験となっています。

なお新入生セミナーは後援会の援助で運営されています。



学友会主催 新入生歓迎会

上級生による履習・生活相談

新入生の感想

- ◎一人暮らしを始めて、絶対ホームシックになると思っていたけど凄く先輩が優しいし、様々なセッションを通して、気軽に話せる友達もできたのであまり寂しくありません。これから、一生懸命頑張って、先輩たちのようになりたいと思います。
- ◎はじめは、友達ができるかなど様々な不安がありました。けれど、新入生セミナーを通じて皆さんの友達ができ、本当にこれからは頑張ろうという気持ちになりました。
- ◎先輩たちは忙しい中、新入生のためにいろいろ用意してくれて本当に嬉しかったです。
- ◎セッション時だけではなく、廊下などで困ったときも先輩方が声をかけてくれて、助けてくれて本当に感動しました。これから

- ◎一人暮らしを始めて、絶対ホームシックになると思っていたけど凄く先輩が優しいし、様々なセッションを通して、気軽に話せる友達もできたのであまり寂しくありません。これから、一生懸命頑張って、先輩たちのようになりたいと思います。
- ◎私も来年は是非有志としてやってみたいと思います。こんな風に来年1年生を迎えてあげたい。
- ◎こんなに楽しい大学だとは知りませんでした。聖隷に入れてとても今は幸せです。人と人との結びつきの大切さを感じました。
- ◎聖隷は、先輩後輩が仲良く、すごくよい大学だと思いました。これから、授業やサークル活動行事など、自分を磨いていきたいです。
- ◎先輩たちが元気で明るくて優しくて、不安がなくなりました。

上級生の感想

- ◎先輩たちが色々なことを計画してくれてとてもうれしかった。たくさん交流ができた。
- ◎友達ができるか心配だったがこのセミナーをきっかけに話すことができた。
- ◎大学生活に不安があったが解消できた。
- ◎学生主体で企画を行なうことで学生同士の交流が深まると思う。
- ◎達成感を味わうことができた。
- ◎企画を行なうことで協力し合うことのすばらしさを知った。
- ◎苦労した分成長できたと思う。
- ◎障害を持った学生への細かい配慮に欠けていた部分があったと思うので、来年度はもっと配慮できるように考えたい。

シリーズ／聖書のことば 【長谷川保と聖書】



「自分に命じられたことを
みな果たしたら、
「わたしどもは
取るに足りない、僕です。
しなければならぬことを
しただけです」と言ひなさい。」

ルカによる福音書17章10節

「しなければならぬこと」

人気の高い職場とは、リストラや倒産の心配のない安定した職場、業績が確かな企業で将来にわたって高い給料が約束される職場である。しかし人気ある企業のリストはかなり変化する。

業績が安定しているからと言って、自分にとって「やりがい」のある仕事ができる職場であるとは限らない。やりがいのある仕事と安定した収入が約束される職場にありつくことは、多くの者にとって夢のまた夢である。

長谷川保は第一次大戦後の不況の時代に経済的成功を海外に求めようとした。しかしその夢を棄て、日本国内で「しなければならぬこと」のある仕事というでもなかった。『夜もひるのように輝く』（128頁以下）によれば、「結核患者の救済事業」は「しなければならぬこと」であって、「無報酬」でなされるべきものであった。聖隷は1953年まで無給制であった。今日そんなことをすれば労働基準法違反となる。長谷川保は「野垂れ死に」をする覚悟であった。それでも「悲愴感」はなかったという。患者たちも「結核をやって幸せであった」と言ったという。「しなければならぬこと」は私たちの周囲にも無数にある。

●聖隷学園宗主任／佐柳文男

保護者のための Q&A

ココが知りたい!

本学では様々な場面で 学生生活支援体制を充実させています。特に保護者から関心の高い質問にお答えします。

就職

Q 大学での就職支援はどのように行なわれているのでしょうか。

A 「就職活動」「病院・福祉施設等研究」「進学」「公務員試験」のカテゴリーに大別して、学内でのガイダンスを随時開催しています。卒業年度の学生だけでなく、1年次から参加できるものが数多くあります。また、個別指導にも力を入れています。具体的には、窓口での相談、履歴書・エントリーシートへの添削指導、模擬面接を実施の場面に即した内容・形式で実施しており効果をあげています。この他、「資格取得講座」も開設しておりキャリア形成に関する各種相談にも応じています。

授業

Q 成績表はいつ頃渡されますか。

A 春semesterの科目の成績については、秋semesterのガイダンス時(9月末頃)、秋semesterの科目の成績については、春semesterのガイダンス時(4月初旬)に配付しています。



学生生活

Q 就職活動はいつから始めたらよいのでしょうか。

A 学部によって異なりますが、社会福祉学部では、3年次の春から活動を始めます。春は、主に情報収集です。本格的な活動は、3年次の秋からになります。看護学部は、就職試験が遅いため、4年次になってからになります。ただ、一部の保健師試験は、4年次の4月に、行なう都道府県があるため、3年次の後半から就職活動を始めています。



学生生活

Q 奨学金を受けたのですが。

A 日本学生支援機構(旧日本育英会)、地方公共団体、あしなが育英会、交通遺児育英会などの奨学金制度に加えて、本学独自の奨学金制度(菅野・太田・長谷川奨学金、MH奨学金、聖隷奨学金)があります。4月の募集が主になりますが、家計の急変によって授業の継続が困難になった場合は、学生サービスセンターにご相談ください。

Q 車で通学させたいのですが。

A 車通学の許可については、基本的には公共交通機関の便が悪く、通学距離が10km以上ある場合に許可を受けることができます。ただし、特別な事情がある場合は学生サービスセンターにご相談ください。



学生生活

Q 学生時代に積極的にボランティアに参加してほしいと思っています。紹介はしていますか。

A 様々な施設等からボランティア募集のお知らせが届き、学生サービスセンターで紹介しています。また、学生の自主的活動であるサークルにも積極的に活動しているボランティアのサークルがあります。

ボランティア体験

Q やつてみた感想/すてき楽しかったし、子供への接し方が勉強になった。始まる前は不安だったけど元気の良い小学一年生の男の子を担当し、スムーズにコミュニケーションができてうれしかった。

A 他に活動しているボランティア/以前から「ホスピスボランティア」をしている。主な内容は患者さんの食事の介助や、話し相手など。

Q ボランティアの内容/2年次生のときから静岡県警察から委嘱をうけて少年警察協働員として毎月1回程度

学生生活

Q 大学にいるときに具合が悪くなったときは対応していただけますか。

A 大学でケガをしたり、体調が悪くなったときは健康管理センターが相談に応じます。簡単な手当てはそこでを行い、必要に応じて病院も紹介します。また、メンタルな悩みなどでカウンセラーに相談したいときは学生相談室の非常勤カウンセラーによるカウンセリングを受けることができます。



海外プログラム

Q 海外との交流プログラムはありますか。

A 本学では希望者を対象とした海外研修を実施しています。



Q 参加費用はどれくらいかかりますか。

A ネブラスカ研修とオーストラリア研修は約40万円、中国研修は約13万円くらいです。

図書館DATA		開館時間/大学図書館	
蔵書数	約88,000冊(内、洋書約8,000冊)	月~金	9:00~20:00 土10:00~18:00
受入雑誌(紀要・報告書を除く)	371タイトル(内、洋書誌110タイトル)	第二図書館	月~金 8:30~21:00 土 8:30~17:00
視聴覚資料	約2,300タイトル	*但し長期休業中は9:00~17:00、土曜休館	

項目	冊数(学生一人当たりの数)	ランキング
蔵書数	72.2冊	7/19位
受入図書冊数	5.7冊	1/17位
受入購入図書冊数	1.4冊	10/17位
貸出冊数	11.2冊	3/19位
資料費	15,572円	9/18位

海外研修DATA

アメリカ研修

看護学部生を対象に、アメリカのワシントン州シアトル市またはネブラスカ州リンカーン市で実施。

[2005年度ネブラスカ研修]

- 主な研修先...ウェスリアン大学(リンカーン市)
- 実施期間...7/28~8/16
- 単位認定...1単位(英語IV)、1単位(国際看護論)
- 研修概要...ウェスリアン大学での語学研修、アメリカ看護についてのディスカッション、リハビリテーション病院見学、メディカルセンターなどにおける看護見学実習とシャドーナリング、ほか

中国研修

全学部生を対象に隔年で実施。

[2004年度中国研修実施内容]

- 主な研修先...重慶第三軍医大学、附属西南医院
- 実施期間...3/13~3/22
- 単位認定...1単位(国際看護論)
- 研修概要...第三軍医大学での解剖標本の見学、看護学部生との交流、附属病院の病棟見学、保健・福祉施設の見学、太極拳の体験、重慶・北京の歴史的文化遺産見学(大足石刻仏、故宫博物館、万里の長城、ほか)

オーストラリア語学研修

2005年度から全学部生を対象に、オーストラリア国立モナッシュ大学での語学研修を実施します。研修期間は約3週間。語学力アップを図ることながら、研修期間中はオーストラリアの大自然を体感するためのフィールドトリップが盛り込まれるなど、充実した内容のプログラムが組まれる予定です。初回は、2006年3月に実施される予定です。

奨学金DATA

看護学部 (2004年度実績)													
学年	菅野・太田・長谷川奨学会	聖隷奨学会	日本学生支援機構			警察育英会	静岡県看護職員特別	静岡県看護協会	交通遺児育英会	MH奨学金	熱海市奨学金	富士コカ・コーラ奨学金(給付)	合計人数
			合計	一種	二種								
1年次生	2	16	30	16	14	1	0	0	0	0	0	0	49
2年次生	2	15	35	14	21	0	0	2	0	0	0	0	54
3年次生	3	34	28	7	21	0	3	0	0	1	0	0	70
4年次生	1	15	25	8	17	0	4	0	1	3	0	1	50
合計	8	80	118	45	73	1	7	2	1	4	1	1	223

社会福祉学部 (2004年度実績)										
学年	菅野・太田・長谷川奨学会	聖隷奨学会	日本学生支援機構			電通育英会	静岡県介護福祉士	浜松市奨学金	岐阜県選奨生	合計人数
			合計	一種	二種					
1年次生	0	0	27	9	18	0	0	0	0	27
2年次生	0	0	22	9	13	0	1	0	1	24
3年次生	2	1	27	8	19	1	2	1	0	34
4年次生	1	0	4	0	4	0	0	0	0	5
合計	3	1	80	26	54	1	3	1	1	90

リハビリテーション学部 (2004年度実績)							
学年	菅野・太田・長谷川奨学会	聖隷奨学会	日本学生支援機構			交通遺児育英会	合計人数
			合計	一種	二種		
1年次生	0	1	24	9	15	2	27
合計	0	1	24	9	15	2	27

※2004年4月開設のため、1年次生の実績のみ

クラブ・同好会紹介



Beauty & Healthy

活動をしていきたいと思うので、一緒にこのサークルを創っていきましょう。

ヨガサークルは今年できた新しいサークルですが、これからいろんな人に参加してもらって、この気持ちを味わってほしいと思っています。

活動日は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな



活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな



活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな



活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

活動は第1、3火曜日と第2、4金曜日です。これからいろいろな

【クラブ・同好会一覧】(2005年9月現在)

●ボランティア系

- ひまわりの会(聖隷厚生園でのボランティア)
- ALS患者さんを励ます会(在宅介護ボランティア)
- 手わっち(手話サークル)
- 献血推進ボランティア(献血キャンペーン企画・運営)
- マナの会(ホスピス学生ボランティア)
- アジア友のわ(JOCSを中心とした海外協力)
- TOLO(外国人児童・生徒への学習支援)
- 点々(点字サークル)
- わたがし(小羊学園でのボランティア)

●スポーツ系

- バスケット J&T(柔道・トレーニング)
- バレーボール部 剣道部
- フットサル TFC(陸上)
- over-dose(ダンス) MSB(野球)
- バ☆ド(バドミントン) H・B・C
- パンパ(バドミントン) チークPoint's
- プレイヤーズ(テニス) 球部(各種球技)
- ゆりかもめ(バレーボール、テニス) Yoga
- ホットリミット(スポーツ・アウトドア)

●音楽系

- コーロ・カリタ(コーラス)
- ハンドベル 軽音楽部
- 室内管弦楽部 琴部
- ブラスバンド部 ギター部

●文化系

- 茶道部 美術部
- オーブ(聖書研究・コスベル合唱)
- 郷土料理研究会

知情意、特に情意教育の難しさと大切さ



リハビリテーション学部 作業療法学専攻 助教授

山崎せつ子

■最終学歴:国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究所博士課程
 ■所属学会:日本神経心理学会、日本高次脳機能学会他
 ■研究テーマ:[著書]作業療法マニュアル高次脳神経障害の作業療法評価(共著)三輪書店、[研究テーマ]高次脳機能障害に対する作業療法、発達過程に見られる作業行動特性

医療関連専門職養成課程でもある学部教育の目標の最低水準は、職業人の育成です。それは、「知情意」全てと「技術」において一定水準を満たしていることを前提として、学生の個性を思う存分伸ばすこと、そして、情報を正しく扱う力を養うことだと、私は考えています。ここでは、「知情意」と「技術」に対する教育について、私見を述べさせていただきます。

「知」と「技術」の教育は、その必要性を学生も十分理解してくれており、目標を共有しやすいという点で悩むことは比較的少ないのですが、「情」「意」に

関してはそうはいきません。個性が溢れる学生を目の前にしつつ、求められる一定水準を頭の隅に置きながら、この水準をどの様に学生に伝えればよいのか、時には何が一定水準なのかで、迷ってばかりです。真剣に迷い続けて10年、徐々に個性に対する許容量が広がり、かつ、絶対に譲れない線も明確になってきました。そして、「情」「意」を重視する度合いは、益々強くなってきました。「情」「意」がしっかりと培われた学生は、卒業して対象者と日々向き合ううちに、「知」を猛烈に求め始める場合が多いのです(もちろん、国家試験に合格する程度の知は必須ですが)。

例えば私自身、真剣に学んだのは臨床の面白さを知ってからでした。障害をもったこともさんを対象として日々作業療法を行っているうちに、こともともに魅惑され、もっと自分に行けることはと希求し、ふと気づくと、「知」が少し身についていました。同時に解決できない疑問も残り、また、「体健全なこともは玩具で遊んでいる最中に、よそ見をしたり他のことに気をとられたいほどの程度遊んだら、次の玩具で遊びだすのだろうか?」例えばこれは、

他人の人生や生活にかかわるということ



社会福祉学部 助教授

吉川公章

■最終学歴:東洋大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士前期課程
 ■所属学会:日本社会福祉学会、日本社会福祉実践理論学会、日本病院・地域精神医学会
 ■研究テーマ:ソーシャルワークの援助関係、ソーシャルワーカーの成長

もう何年前になるだろうか、暑い夏、実習で初めて精神科病院を訪れた時のことだった。背中に響いた鉄の扉が閉まる音や鍵の音の背筋が寒くなるような感覚、炎天下のブロック工場で働く(院外作業療法といわれていた)

父親とほぼ同じ年頃の長期入院をしている患者さんの姿、そんな中から感じた「どうしてこの人たちはここにいなればならないの」という疑問が今に続く出発点だった。

南アルプスと中央アルプスに挟まれた山間の一般科・精神科の病床を持つ民間病院で、初めてのソーシャルワーカーとして仕事を始めたわたしを支えたのは、「学生時代の疑問」と「わたしはソーシャルワーカーなのだ(単なる福祉サービスの紹介・調整者ではない)」という意気込みだった。向き合う患者さんやその家族だけでなく、院内外の様々な専門職に「わたしはこんなことをします、こんなことができず」ということをひたひたと説明しなければならなかった状況が、否応なく、実践を理論化することに結びついていった。そんな中で、自分の関心や問題意識は、援助関係はどのように形成され展開していくかというこ

この稿を書きながら自らの教育研究を振り返り、初心にかえることができたことを感謝します。

実践現場を離れた今、「自分とは全く背景の異なる人が、今、ここで、ひとつの生き方の選択をしようとしている。ソーシャルワーカーはそれに直にふれようとしている」という、クライエントとその状況とソーシャルワーカーとの交互関係のなかでの「かわり」を明らかにしていくことが大きな研究課題になっている。そして、そのことは、ソーシャルワーカー教育者として「教育は、学生の内面に、批判的思考と問題解決能力、特に解決のための既成のガイドがない場合の問題解決能力という資質を育てるだろう。」(F. J. Baskind, 全米ソーシャルワーク教育協議会会長)といわれる使命を果たそうとする今のわたしの学生への「かわり」を支えていることでもある。

CHRISTOPHER news

クリスチャーニュース

2005
MARCH~
AUGUST



ナンヤン理工学院 リム先生の 講演会を開催しました。

6月10日(金)に本学リハビリテーション学部リハビリテーション学科作業療法学専攻1・2年次生を対象として、「文化とリハビリテーション」シンガポールの経験から」をテーマにシンガポールのナンヤン理工学院健康科学部作業療法学科学科長のLim Jua Beng氏による講演会を開催しました。文化の意味と生活におけるその重要性、文化を大切にしたいセラピーの方法などについて

**学生28名が
中国研修に
行ってきました。**
3月13日~22日まで、学生28名と引率の教職員3名、計31名が中国研修に行きました。この研修は、国際的な視野で保健・医療・福祉を考えるきっかけをつくり、また、異文化に触れることで人間・社会・環境への理解を深めることなどを目的としています。
訪問地は重慶と北



実際のマレー系患者の症例を取り上げ、参加者間でのディスカッションも交えながら多民族国家シンガポールにおける実践経験に基づ

京で、滞在中は、本学と昨年9月に交流協定を結んだ第三軍医大学の標本陳列室の見学や同大学看護学部生との交流、同大学附属西南医院の病棟見学や看護専門職との学術交流会、高齢者施設、地方病院の訪問、観光などを行いました。

**アメリカ
ネブラスカ研修を
実施しました。**
希望する看護学部生を対象に、アメリカのネブラスカ州リンカーン市で7月28日~8月16日の20日間に渡って研修を行いました。研修の目的は現地の病院や福祉施設の見学・訪問、現地の看護師とともに患者さんのベッドサイドに同行するシャドーナースィングなどを通して、アメリカにおけるヘルスケアシステムを学び、看護職の担う役割の日本との違いや共通点を考える機会とすることです。また、ESL教員による語学の授業や一般家庭でのホームステイを通して生きた英語を磨き、コミュニケーション力を高めます。なお、研修参加は卒業単位として認定されません。

いた講演を行いました。
本学では、昨年度よりナンヤン理工学院との交流協定締結に向け準備を進めています。同学院は大学レベルの高等教育を施す専門教育機関であり、シンガポールにおいてはヘルスサイエンスの分野で高い評価を得ています。本学との教員レベルでの交流は既に始まっていますが、今後、正式な教員、学生の相互派遣・受け入れ開始を目指していきます。



資格取得講座(正課外)を実施しました。

昨今の就職環境を踏まえ、2004年度から在学学生を対象にした各種資格取得および就職試験突破を目的とした「キャリアアップ講座」を開講しました。本講座は、正課外の講座として設定するため、外部業者に委託して有料で行っています。また、講座の開講にあたっては後援会から経済的援助をいただいています。

講座名	参加人数
公務員・一般教養試験対策講座	28名
医療事務養成講座	18名
福祉住環境コーディネーター2級	21名
介護報酬請求事務講座	20名
MOS受験対策講座	14名
一般教養試験対策講座	54名
看護師国家試験対策講座	188名



就職活動・ 国家試験受験報告会が 行われました。

3月1日(火)に学内において「就職活動・国家試験受験報告会」が行われました。
これは来年度就職活動や看護師・保健師の国家試験受験を控えた看護学部生が、進路についての具体的なイメージをもち、行動へと結びつけることができるよう、毎年就職センターが中心となって企画・実施しているものです。

就職マナー講習会を 行いました。

今年度就職活動を行う看護学部・社会福祉学部・看護短期大学の卒業年次生を対象として、4月9日(土)に「マナー講習会」を行いました。
この講習会は、就職活動を行うときや社会人となるときに必要不可欠な基本的マナーを習得してもらおうと、就職支援プログラムの一環として本学の就職センターが企画し、毎年春と秋の2回、実施しています。当日は約50名の学生が参加し、講師の



指導の下、発声練習やお辞儀の仕方など立ち居振る舞いの基本を学びました。

就職活動報告では、聖隷関連病院と聖隷関連以外の病院に就職予定の4年次生各1名が、就職活動の方法とその心構え、就職先を決めた理由などについて、具体的な話をしました。また、国家試験受験報告では、看護師国家試験と保健師国家試験について各1名が、試験に向けての準備方法や、実習の大切さなどについて話をしました。参加した学生たちは、メモを取りながら、先輩たちの話に熱心に耳を傾けていました。



学内病院説明会を 行いました。

6月4日(土)に「第1回学内病院説明会」、6月11日(土)に「第2回学内病院説明会」を行いました。この説明会は、本学学生が病院を理解し就職活動に役立てるために、病院の概要や病院が求める人材、採用基準などについて病院の採用担当者の方やそこで働く本学卒業生から直接話を聞く機会として開かれるものです。本学就職センターが企画・実施し、第1回は静岡県内および愛知県東部地区の18の一般病院を招いて行われました。第2回目は、聖隷浜松病院、聖隷三方原病院、聖隷横浜病院など聖隷関係の8つの病院、施設を招いて実施しました。



カウンセリング マインドによる 学生対応研修(第2回)を 行いました。

7月29日(金)に社会福祉学部の福永博文教授(専門分野:臨床心理学)を講師に事務職員を対象とする第2回目の研修を開催しました。今回はカウンセリングマインドの理論と必要性及び対応方法について、具体的な事例を交えた実践的な話を伺うことができました。

後援会から

【聖隷クリストファー大学後援会 2004年度決算・2005年度予算について】

2005年4月4日(月)に後援会2005年度総会が開催され、以下のように2004年度決算及び2005年度予算が承認されました。2005年度は、福利厚生費のうち、学生相談室の常駐職員の配置に係る費用の補助等、特に学生相談体制の充実のための予算を増額しています。

[収入の部]		2004年度決算	2005年度予算
会費・入会金	入会金収入 会費収入	3,607,500 22,410,000	3,265,000 24,580,000
利息収入	預金利息	568	500
前年度繰越		3,673,005	3,211,298
	収入の部 合計	29,691,073	31,056,798
[支出の部]		2004年度決算	2005年度予算
教育活動	新入生セミナー補助	3,280,083	2,479,000
振興援助費	海外研修補助費(アメリカ)	635,980	450,000
	海外研修補助費(オーストラリア)	0	200,000
	海外研修補助費(シンガポール)	0	226,000
	海外研修補助費(中国、隔年実施のため2005年度は実施しない)	163,738	0
	中国・第三軍医大との交流協定締結、学生代表者渡航費用補助	640,200	0
看護学部 地域看護実習交通費補助	999,905	1,000,000	
看護短期大学部専攻科 学外学生会参加交通費の補助	261,800	280,500	
資格取得講座等補助費	654,000	1,000,000	
福利厚生費	学生相談室カウンセラー及び相談受付費	3,268,669	5,300,000
	学生相談室運営費	0	220,000
	学生健康診断補助	3,123,097	2,797,000
	学生の自主活動への補助(学生会活動、クラブ活動、大学祭開催等)	2,400,000	1,500,000
	学生会活動への援助(学生リーダー養成)	0	100,000
	クラブ指導者への謝礼(琴、手鼓、管絃楽、茶道、テニス等)	194,722	300,000
	学生食堂光熱水費、衛生管理費等への補助	4,108,911	4,000,000
	交通安全・防犯啓蒙活動費用の補助	160,225	150,000
	卒業記念品贈呈	765,145	1,062,000
	卒業パーティ開催	1,500,000	2,000,000
	家主懇談会費用(年2回開催)	2,640	11,500
学生用コピー機・印刷機費用の補助	783,698	1,200,000	
健康管理センター薬品等購入費	262,338	300,000	
会員情報提供費	大学報印刷費用、郵送料	1,205,572	1,500,000
	保護者懇談会の開催	598,905	1,000,000
施設設備費	学生福利厚生設備品の充実費用	1,000,000	500,000
	駐車場防犯カメラシステムリース料	189,624	189,624
	大学周辺の防犯灯維持費	62,768	70,000
総務費	慶弔費	50,000	50,000
	会費納付書等印刷費、郵送料	83,500	60,000
	役員会 年3~4回(5,9,12,3月)	84,255	150,000
予備費		0	2,961,174
次年度繰越金		3,211,298	0
	支出の部 合計	29,691,073	31,056,798

学友会から



学友会会長
小長谷 拓郎
リハビリテーション学部
2年次生

今期の学友会の活動目標は、今までの学友会の活動を見直し、翌年への土台を作る事です。今までの学友会では、学友会規約が明確に示されていなかったり、大学祭実行委員会と連絡をとりず活動内容を何も把握できていないといった問題点がありました。また、学友会内でも、1年生に連絡が行き渡っていないなど、活動に参加する人数が少なかつたりといった問題点がありました。

今期は、これらの内容を踏まえて、学友会委員の人数を増やしたり、1年生にも係を与え、活動に参加させることで責任感を持たせたり、大学祭実行委員とも随時連絡を取り合ったりしています。活動を進めていく上で、「こうすればよかった」「もっと早めに行うべきだった」といった改善点が多く見られ、そういったことを整理し、明確にしておくことで来年はより良くスムーズに活動が行っていくと思っています。今期の学友会では以上のように、来年に目を向けて活動していきたいです。



今年度の「看護の日記念行事」は、新入生の導入科目である「基礎セミナー」との共同企画で5月12日(木)に開催されました。参加者は、本学学生や教職員の他、聖隷クリストファー高校看護科・福祉コース3年生30名、一般参加者2名を含めて232名でした。

独立行政法人国立病院機構災害医療センターの原口義座氏(臨床研究部病態蘇生研究室長・外科医長)を講師としてお招きし、「災害に対しての医療・看護を考える」最近多発する災害への実際の対応経験を中心に「という演題で講演いただきました。

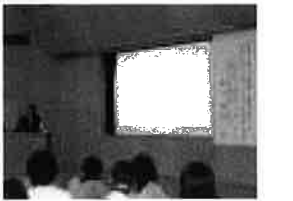
講演の前半は、米軍基地におけるサリン災害医療訓練の紹介に始

まり、地震・洪水・津波などの自然災害や原子力発電所事故、テロ等の人為災害への対応など、多岐に渡ってご紹介いただきました。後半は参加者全員で災害医療の基礎知識に関するクイズやトリアージタッグを使った訓練の一部を実際に行いました。また、質疑応答では、前半の講演内容などに寄せられた数多くの質問に関して、原口先生から豊富なご体験をもとにした具体的で丁寧なご回答をいただきました。その中で原口先生は「二次災害の予防、災害時の対応は最初から後のことまで考えて行うことが大切で、援助するためには体力、知識も大切であるが、基本的な総合的視点が大切であることや災害医療に携わっている人達が充実感や満足感をもって援助できることの必要性を話されました。

講演後の学生の感想には「災害医療に関心をもった」「トリアージの書き込みが興味深かった」等が見られ、災害医療に対する学習への動機付けへの良い機会となりました。



●看護の日記念行事委員会
神崎江利子 講師



Q1 本誌の全体の印象について○印をつけてお聞かせください。(具体的なご意見もお書きください)

- 1 読みやすい 2 読みにくい

Q2 本誌で興味を持たれた記事に○印をおつけください。(いくつでも)

- 1 よこそクリストファーへ 5 クラブ・同好会紹介 9 後援会から
2 聖書のことば 6 クリストファーニュース
3 クリストファーQ&A 7 聖灯祭
4 私の教育研究 8 学友会から

Q3 本誌へのご意見、ご要望、その他大学に関するご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。

読者アンケートのお願い

第24号から読者アンケートを開始しました。読者の皆様から多数の貴重なご意見をいただきありがとうございます。主なご意見・ご質問に関する回答は後援会のホームページに掲載しています。引き続き学報に関するご意見をいただければ幸いです。お便りお待ちしております。

聖灯祭
ONE
noborder
11/5(土)開催



大学祭実行委員長
中村 泰介
社会福祉学部2年次生

今回の聖灯祭のテーマを「ONE~noborder~」にしました。この意味はあえて言いません。皆さんの心にこのONEという文字を感じてみてください。そうしたら、きっと一人ひとりのONEが見えてくるはずです。ちなみに聖灯祭の中の健康祭では高齢者体験ウォークラリーといったものやナース服があります。皆さんもぜひ足を運んでみてください。ほんと楽しいです。疲れた人用の休憩室や、いつでもサポート万全ボランティア係もいるので遠慮せず声をかけてください。また11月5日の土曜日に会いましょう。それでは!

2005年度卒業式・卒業パーティのお知らせ

2006年3月13日(月)に「2005年度学位記授与式・卒業式・修了式」(会場:アクティ浜松中ホール)と「卒業パーティ」(会場:グランドホテル浜松)を開催します。卒業年次の保護者の皆様には追ってご案内をお送りします。

後援会ホームページができました

大学のホームページ内に(<http://www.seirei.ac.jp/>)後援会のホームページができました。大学のホームページを開き、「保護者の方へ」をクリックしてご覧ください。